

## 作物別、畠と施肥量の計算、作付計画

計算式：作付面積 × 要素N必要量 ÷ 肥料含有成分 = その肥料の必要散布量

まず、作付のための情報を以下の 1-9 の様な項目に整理しておきます。(必須です。)

1	作物名	ジャガイモ
2	作付面積	17m × 18m = 306m <sup>2</sup>
3	畠幅 (畠は日当たりを考える)	80cm
4	株間	40cm (つま先とかかとに植えるとおよそ 40cm)
5	予定株数	畠数 1700/80=21.25 1畠の株数 1800/40=45 21 × 45=945個
6	作物別施肥基準表 10a (1000m <sup>3</sup> ) 要素合計 N-P-K	N-P-K (これは ?g/1m <sup>3</sup> と同じこと) 11-7-11 Kg/10a (1000m <sup>3</sup> )
7	元肥 N-P-K	8-7-8 Kg/10a (1000m <sup>3</sup> ) = 8g/1m <sup>3</sup>
8	追肥 N-P-K	3-0-3 Kg/10a (1000m <sup>3</sup> ) = 3g/1m <sup>3</sup>
9	要素のN 窒素を規準に。必要肥料を計算する 元肥 8g/1m <sup>3</sup> × 306m <sup>3</sup> = 2448g = 2.448Kg (必要な N 窒素量)	

元肥の肥料計算の考え方：10a、N-P-K と 肥料の含有成分の% や袋入りの重さの、情報や数字のマジックに惑わされないように。

品名	N-P-K	製品100g の中
8-8-8 化成 を使う場合 20kg の袋入り	8-8-8 元肥 2.448 Kg N 窒素要素計	窒素が8g、リン酸が8g、カリウムが8g 2448 g ÷ 8g = 30.6 Kg すなわち 888化成を使う場合 30.6 Kg 必要
4-4-2 高度化成 を使う場合 20kg の袋入り	14-14-12 元肥 2.448 Kg N 窒素要素計	窒素が14g、リン酸が14g、カリウムが12g 2448 g ÷ 14g = 1748.6 すなわち 442 高度化成を使う場合 17.486Kg 必要
簡単に整理しますと 計算式は：	<u>作付面積 × 要素N必要量 ÷ 肥料含有成分 = その肥料の必要散布量</u> a. 888の場合 306m <sup>2</sup> × 8 ÷ 8 = 306 (約 30.6kg) b. 442の場合 306m <sup>2</sup> × 8 ÷ 14 = 1748 (約17.5kg) となります。	

作物別施肥基準表 (添付の別表を参照してください。)

以上